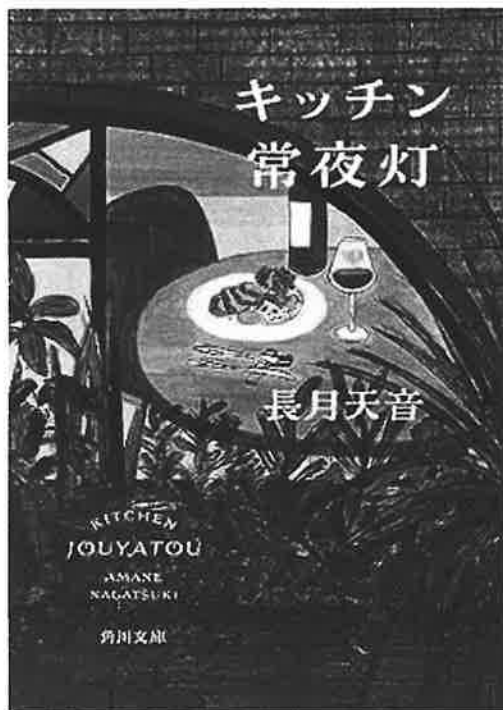




発行日：令和7年 8月 5日

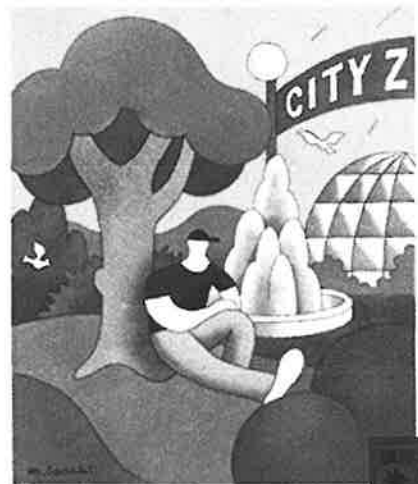
もうすぐ夏休みが始まりますね。しかし、夏休みといっても勉強や部活で忙しい人が多いと思います。そこで今回は、そんな忙しい日々の際間時間に読める魅力的な短編集を二冊紹介します。



キッチン常夜灯 作者：長月天音

あらすじ：望んでもいないのに飲食店の店長を押し付けられ、火事で帰る部屋を失った主人公の南雲みもぞ。心身共に疲労した彼女は『キッチン常夜灯』というビストロに出会い次第に回復してゆく……。作者本人の体験からくる飲食店業の過酷な描写とビストロで出てくる美味しそうな料理の数々。そして、店の中での温かい心と心の交流が魅力の一冊です。

カンガルー日和 村上春樹



カンガルー日和 作者：村上春樹

あらすじ：カンガルーの赤ちゃんを見に行くことにきめた一組の男女、100パーセントの女の子にであった一人の男、タクシーに乗った吸血鬼。日常を描いているのに、少し奇妙な世界の話を読んでいるかのような不思議になれる本作。村上春樹作品の入門にはうってつけです。